

心疾患対策 数値目標

1 目指す姿

指 標	現状	目 標	目標値の 考え方	データ出典	取り組みの 主体
虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口 10 万人あたり)	R2 年度 男性 76.5 女性 27.8	R11 年度 73 現状より低下	全国平均 並みへ改 善(現状 より低下)	人口動態統 計特殊報告	—
虚血性心疾患の年齢階級別死亡率 (人口 10 万人あたり)	R2 年度(男性) 70-74 歳 131 65-69 歳 111.9 60-64 歳 69.9 55-59 歳 71.8 50-54 歳 32.2 45-49 歳 25.9 40-44 歳 18.3 R2 年度(女性) 70-74 歳 33.6 65-69 歳 16.7 60-64 歳 19.8 55-59 歳 9.1 50-54 歳 ※ 45-49 歳 1.9 40-44 歳 2	R11 年度(男性) 130.2 92 70.7 62.9 現状より低下 15.7 8 R11 年度(女性) 23 15 現状より低下 現状より低下 ※ 現状より低下 現状より低下	全国平均 並みへ改 善(現状 より低下)	人口動態統 計特殊報告	—
大動脈緊急症の死亡率	R2 年度 手術有り 12% 手術無し 42%	R11 年度 現状より低下 現状より低下	現状より 低下	DPCデータ	—
在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	R2 年度 沖縄県 94.9% 北部 98.1% 中部 93.7% 南部 95.3% 宮古 83.3% 八重山 100%	R11 年度 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上 92.3% 現状より向上	全国平均 並みへ改 善(現状 より向上)	医療計画 データブック	—

在宅等生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	R2 年度 沖縄県 76.5% 北部 ※ 中部 77.7% 南部 74.8% 宮古 100% 八重山 100%	R11 年度 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上 現状より向上	現状より 低下	医療計画 データブック	—
心不全患者の年齢調整死亡率(人口 10 万人あたり)	R2 年度 男性 41.3 女性 27	R11 年度 現状より低下	現状より 低下	人口動態統計特殊報告	—
心不全患者の年齢階級別死亡率(人口 10 万人あたり)	R2 年度(男性) 70-74 歳 34.8 65-69 歳 16.6 60-64 歳 17.5 55-59 歳 18 50-54 歳 6.4 45-49 歳 5.6 40-44 歳 ※ R2 年度(女性) 70-74 歳 15.5 65-69 歳 2.1 60-64 歳 8.8 55-59 歳 4.5 50-54 歳 ※ 45-49 歳 5.7 40-44 歳 ※	R11 年度(男性) 現状より低下 現状より低下 現状より低下 12.9 現状より低下 4.4 ※ R11 年度(女性) 現状より低下 現状より低下 6.5 3.6 ※ 1.6 ※	全国平均 並みへ改 善(現状 より向上	人口動態統計特殊報告	—
心不全患者の再入院率	R4 年度 42 日以内 10.7% 180 日以内 16.3%	R11 年度 現状より低下	現状より 低下	県医療政策課調査	—
先天性心疾患患者への支援 ①患者への教育 ②医療、行政、福祉、教育関	R4 年度 未実施	R11 年度 実施	現状より 増加	県医療政策課調査	医療機関 県

係機関との連携					
---------	--	--	--	--	--

2 取り組む施策

(1) 救護

指 標	現 状	目 標	目標値の 考え方	データ出典	取り組みの 主体
心疾患による救急搬送患者の 初診時の死亡数	R2 年度 326 人	R11 年度 現状より低下	現状より低下	県防災危機管 理課調査	-
急性心筋梗塞の症状、対処法 等の普及啓発のための市民公 開講座等の実施数	R4 年度 4 回	R11 年度 5 回	各二次医療 圏で実施	県医療政策課 調査	医療機関 消防機関

(2) 急性期医療

指 標	現 状	目 標	目標値の 考え方	データの出典	取り組みの 主体
来院後 90 分以内の冠動脈再 開通率	R3 年度 沖縄県 57.6% 北部 51.9% 中部 65.5% 南部 58.2% 宮古 60.0% 八重山 *	R11 年度 61.2% 61.2% 現状より向上 61.2% 61.2% 61.2%	全国平均並 みへ改善(現 状より向上)	医療計画 データブック	医療機関
24 時間 PCI が実施可能な医 療機関がある二次医療圏数	R4 年度 5 圏域	R11 年度 5 圏域	全ての二次 医療圏での 確保	県医療政策課 調査	医療機関
救急搬送時の救急隊員による 12 誘導心電図伝送の実施件 数	R4 年度 857 件	R11 年度 現状より 増加	実施件数の 拡大	県医療政策課 調査	医療機関 消防機関
大動脈緊急症を 24 時間対応 可能な体制を構築している二 次医療圏数	R5 年度 5 圏域	R11 年度 5 圏域	全ての二次 医療圏での 確保	県医療政策課 調査	医療機関
大動脈緊急症の手術件数	R3 年度 191 件	R11 年度 現状より 増加	受入体制の 確保	医療計画デー タブック	医療機関

大動脈緊急症の連携体制構築 の為の協議会の回数	R4 年度 0 件	R11 年度 3 回	協議の実施	県医療政策課 調査	医療機関 消防機関
----------------------------	--------------	---------------	-------	--------------	--------------

(3) リハビリテーション

指 標	現状	目標	目標値の 考え方	データ出典	取り組みの 主体
心大血管リハビリテーション料届 出医療機関数	R5年度 19 施設	R11 年度 現状より 増加	現状より向上	九州厚生局届 出医療機関名	医療機関
急性期病院における心大血管疾 患リハビリテーションの提供単位 数 (単位数/日・人)	R4 年度 沖縄県 1.60 北部 0.59 中部 2.55 南部 1.75 宮古 0 八重山 0.88	R11 年度 現状より 増加	現状より向上	県医療政策課 調査	医療機関
入院心血管リハビリテーションの 実施件数	R3 年度 沖縄県 3,441 北部 150 中部 796 南部 2,420 宮古 0 八重山 75	R11 年度 現状より 増加	現状より向上	医療計画デー タブック	医療機関
外来心血管リハビリテーションの 実施件数	R3 年度 沖縄県 1,775 北部 27 中部 217 南部 1,474 宮古 0 八重山 57	R11 年度 現状より 増加	現状より向上	医療計画デー タブック	医療機関

(4) 心不全対策

指 標	現状	目標	目標値の 考え方	データ出典	取り組みの 主体
多職種が連携した心不全治療予	R4 年度	R11 年度	多職種が連	県医療政策課	医療機関

チームのある医療機関数	18 医療機関	現状より 増加	携した治療チ ーム設置の 拡大	調査	
心不全治療を可能とするかかり つけ医数（心不全管理に関する 研修会参加医療機関）	R4 年度 18 医療機関	R11 年度 現状より 増加	全ての二次 医療圏での 確保	県医師会 地区医師会	医療機関 医師会
心不全患者への緩和ケア実施病 院数 ①外来 ②入院	R4 年度 9 施設 14 施設	R11 年度 現状より 増加	現状より向上	県医療政策課 調査	医療機関
多職種チームで心不全緩和ケア を実施している病院数	R4 年度 10 施設	R11 年度 現状より 増加	現状より向上	県医療政策課 調査	医療機関
心不全緩和ケアに関する研修会 に参加した医療機関数	R5 年度 0 施設	R11 年度 現状より 増加	現状より向上	県医療政策課 調査	医療機関

(5) 移行期医療支援

指 標	現状	目標	目標値の 考え方	データ出典	取り組みの 主体
移行期医療支援センターの設 置、運営	R4年度 0箇所	R11 年度 1 箇所	センター設置 を目指す	県医療政策課 調査	医療機関 県
移行期医療支援センターの設置 に向けた準備作業(関係者間の 意見交換、研修等)	R4 年度 実施	R11 年度 実施	センター設置 を目指す	県医療政策課 調査	医療機関 県